

令和2年度スポーツ産業の成長促進事業

「中央競技団体の経営力強化推進事業(戦略的普及・マーケティングの実施)」

経営力強化に繋がる

NFマーケティング戦略策定と実行について

2021年1月21日

NFマーケティングを取り組むべき重要性

NFの普及・マーケティングとは……

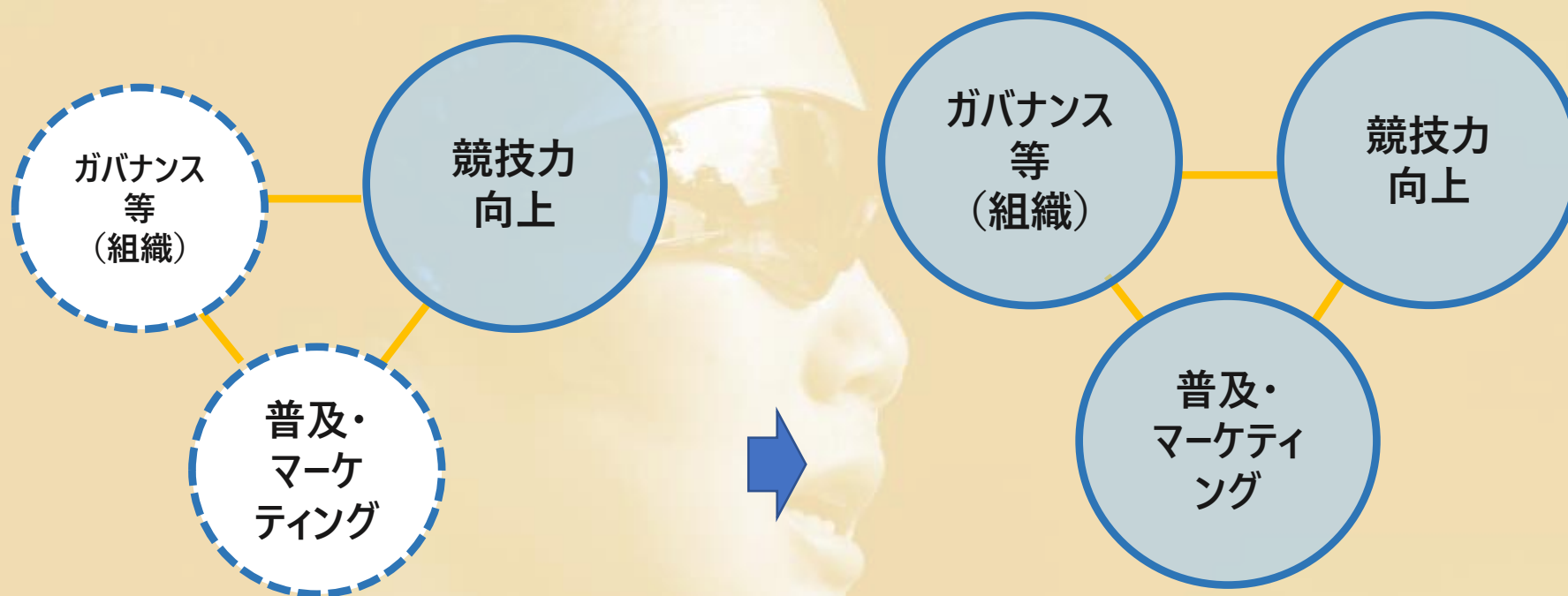
**「する」「みる」「支える」人・団体（→顧客）を拡大（→普及）し、
収益の拡大（→マーケティング）を図ること。**

少子高齢化による人口減や趣味嗜好の多様化、2020オリパラ以降のスポンサー費や補助金減少など、外部環境が変化する中、NFが持続的に発展するためには、当該スポーツを「する」「みる」「支える」人・団体（=顧客）を拡大する（→普及）とともに、収益の拡大（→マーケティング）を図り、より多くの人・団体が当該スポーツの価値を享受する社会の実現を図る事が重要です。

また、従来の「する」「みる」「支える」に加えて、スポーツが持つ価値を「活用する」事により、NF自身又は社会課題の解決に貢献し、収益やブランド価値の向上を図ることができます。

普及・マーケティングが持つ必要性

競技力強化に偏重した組織運営を見直し、収益基盤の安定（普及・マーケティング）や組織のガバナンス強化に取り組むことが重要。



JTU中長期経営戦略

- 2017年 9月 : 理事会にてJTU経営戦略の策定骨子の承認
- 2017年12月 : 戦略計画アンケート実施(対象:JTU理事)
- 2018年 3月 : 経営戦略ワークショップ開催(対象:JTU理事)
- 2018年 5月 : 理事会でJTU経営戦略骨子の方針の確認
- 2018年 6月 : JTU経営戦略方針骨子の報告(定時社員総会)
- 2018年 7月 : JTU戦略方針の発表(HP及び冊子等)

JTU中長期経営戦略



JTU中長期経営戦略

MISSION (使命)

・トライアスロン競技の更なる強化・普及を図り、健全な心身の発達に
努め、競技団体としての社会的地位向上を図る
・他競技に比し、卓越した国際基準・国内基準を定め、トライアスロン競技をグローバルに成長させる

=目的

VISION (役割)

【普及】Keyword:
* 会員登録数5万人
* 競技愛好者数50万人
* 国内大会数500大会の推進

【強化】Keyword:
* 2020年: 女子メダル、男子トップ16
* 2024年: 女子メダル、男子トップ8
* オリンピック・パラリンピック・マルチ
スポーツにおける国際トップレベルの選
手・指導者の強化
* ジュニア層・高校生年代の育成システ
ムの確立

【組織】Keyword:
* トライアスロンの社会的価値の創出
* 安全・安心な競技環境の整備

=目標

ACTIVITY (活動)

本ワークショップでは目的・目標を達成するための
「手段」について議論を行います。

=手段



TRIATHLON
CLEAN SPORT



トライアスロン = 健康スポーツ計画

(クリーンスポーツ／一億総スポーツ参画)

triathlon paratriathlon

Moving Forward Together!

パートナーと一緒に創る、トライアスロンの未来



トライアスロン競技の発展と成長のイメージ(30年構想)

NFマーケティングが収入確保のために必要なこと

グッドガバナンス

組織規範、組織統治、財務会計=自立

ステークホルダー

コーポレートガバナンス(企業統治)

プロパティ

権利や財産の発掘・見直し・保護

オリジナリティ

独自のシステム/プログラム=唯一性



NFマーケティングが取り組むべき戦略が見えてくる。

経営力強化に向けたJTUの取り組み

ミッション・ビジョン・中長期戦略

<Activity> 活動(=手段)

- ・JTU会員登録価値の最大化
- ・国内大会の充実
- ・関連企業・メディア連携強化
- ・生涯スポーツとしての価値の最大化
- ・競技環境の整備
- ・トライアスロンムーブメントの創出

【戦略・実行計画策定】

目標達成(現状とのギャップを埋める)に向け、会員登録や大会参加価値を高める施策を推進。

Visionの中の具体的な目標 「555計画」(普及のみ数値目標設定)

- ①会員登録数の増加:5万人(2019年:3万人)
- ②競技愛好者数:50万人(2019年:37.5万人)
- ③国内大会数:500大会(2019年:290大会)



➡ 上記を推進するために「トライアスロン=健康スポーツ計画」を掲げ本事業の実施を推進していく。

事業趣旨・目的

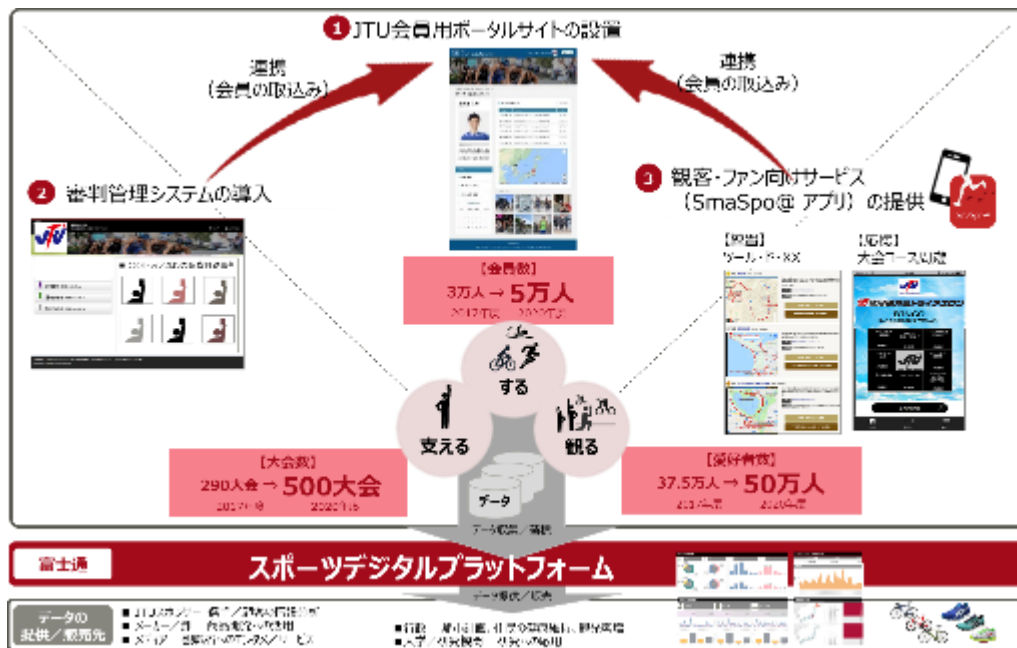
IT技術等を活用した「トライアスロン=健康スポーツ計画」の推進

- ・社会課題であるスポーツを通じた健康増進について、中央競技団体として競技団体が持つ権利と会員基盤DBとITU技術・他産業サービスを掛け合わせ、健康スポーツを切り口としたサービスを展開し、競技者の満足度の向上・競技者数の拡大を図り、「トライアスロンの健康スポーツ」として立ち位置の確立させる。
- ・NF自らが保有する権利・資産をNF自身で戦略的に活用し、自立した経営を推進することで、スポーツ競技団体の成功事例としてロールモデルとなり、更に将来的な「スポーツマイレージ(仮称)」の構築による国内新産業の発展の基礎となる事を目指す。

経営力強化に向けたJTUの取り組み

アクションプラン

(1) デジタルプラットフォームの構築



JTU会員登録の価値最大化及びトライアスロンムーブメントの創出に向けて、JTU会員向け「マイポータル」を充実させ、JTU会員の**満足度向上・大会参加数増加**に繋げる。

(2) 動画関連サービスの拡充



登録会員や関係者とのコミュニケーションツールとして動画を用いたサービスの展開を推進するため、専門チームを立ち上げ、動画サービスの収益化を図る。

(3) 「健康スポーツ＝トライアスロン」リアル×バーチャルサービスの推進



バーチャルバイクアプリを活用したトレーニングサービス、オンライントレーニングサポートサービス、IoT端末・ウェアラブル端末を活用した大会運営サービスなど、健康を機軸にリアルとバーチャルを融合したサービスを展開する。

権利 (rights) と

財産 (property) を

いかにマネジメントするか。



トライアスロン ～属性分析～

トライアスロン自体のコンテンツ分析

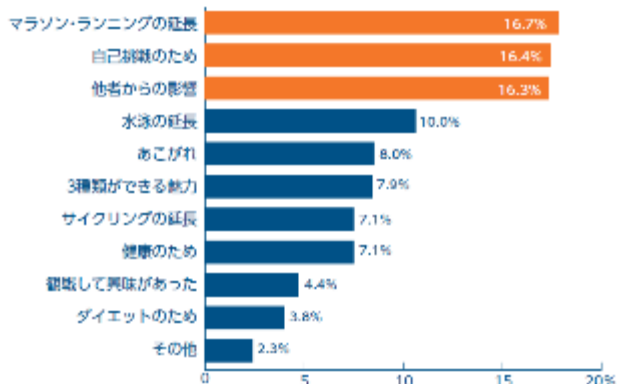
ひとつでも多くの「財産」となる種を探すこと。



トライアスロン ～属性分析～

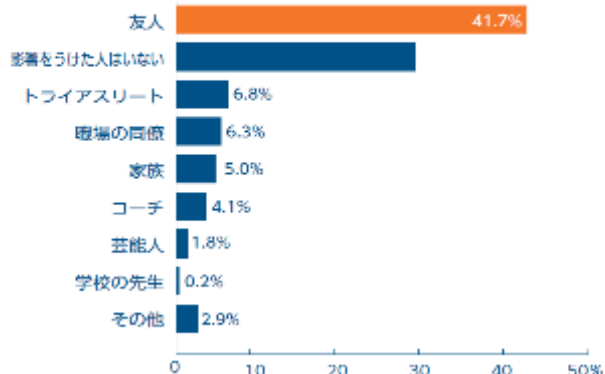
？ トライアスロンをはじめたきっかけ

n=1061
★複数回答

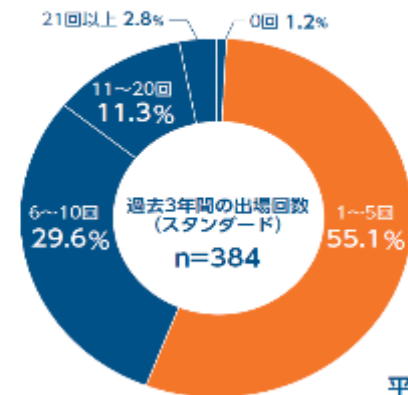


？ トライアスロンをはじめるとは影響を受けた人

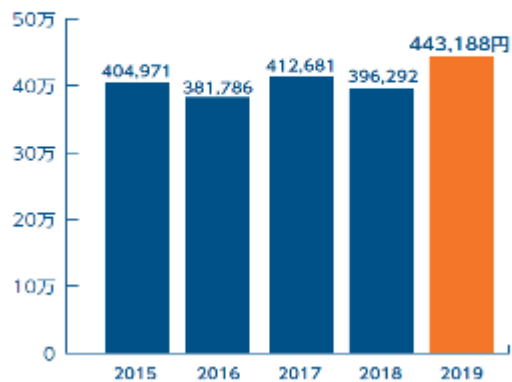
n=441



？ 過去3年間におけるスタンダードディスタンス(51.5K)出場回数



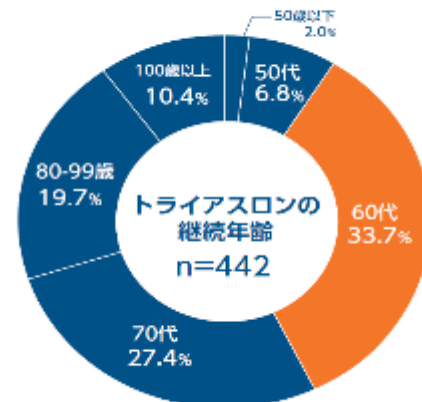
？ 1年間でトライアスロンに使用した金額 (5年間推移)



？ 今大会で使用した金額



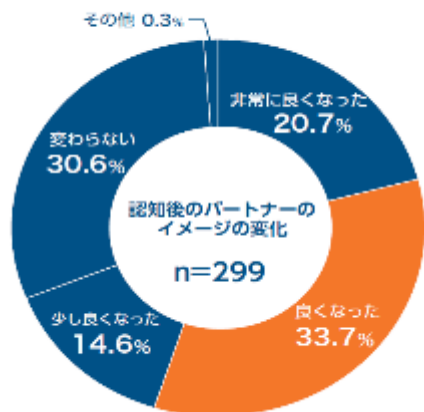
？ トライアスロンの継続可能年齢



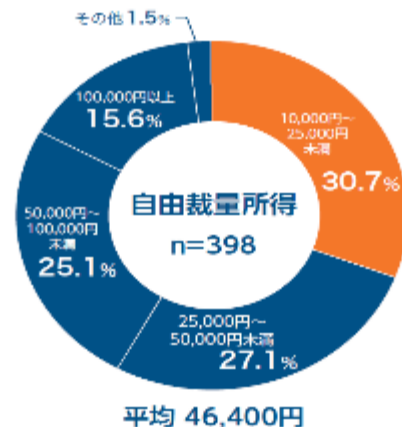
※100歳以上には、できる限り、生誕まで、などの回答を含まず

トライアスロン ～属性分析～

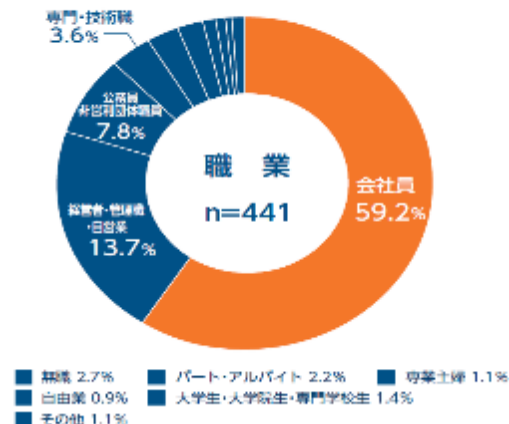
？ 大会パートナーと知って、印象は変わりましたか？



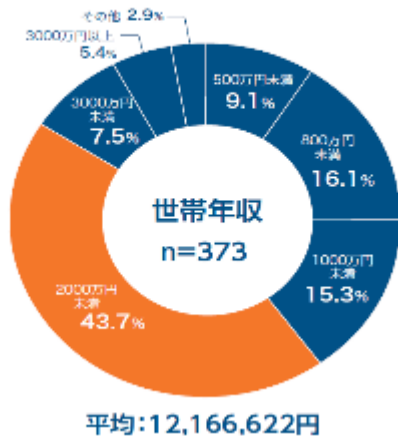
？ 回答者の自由裁量所得(おこづかい)



？ 回答者の職業



？ 回答者の世帯年収



「トライアスロン」がもつコンテンツとしての主な特徴

- 男女比率は、8：2。年齢構成は、40歳～50歳代で全体の65%。
- 経営者・管理者層が約14%。会社員比率はマラソンと殆ど同値。
- 世帯年収平均が約1,200万円。使えるお小遣いも約5万円。
- 一人当たり年間で約45万円の消費額。大会に出場したら約5万円の出費。
- 出費はあるけど、生涯スポーツとして続けたい。なんと現役最年長は87歳。
- スポンサー企業への印象は良くなっているけど、「変わらない」も約30%。

トライアスロン ～属性分析～



トライアスロン ～企業リレーション×CSV～

「健康＝トライアスロン」

日本国民の健康寿命増進のための、スポーツ×社会文化の創造

Triathlon Innovation

1

ライフシフト

人生戦略における
スポーツやトライアスロンの
位置付けの向上



2

テーラーメイド

ひとりひとりにテーラーメイド
化されたトレーニング環境の
提供(健康増進)



3

SDGs

SDGsの観点から設計する
大会運営や事業の再構築



4

新生活様式

ウィズコロナ時代における
新しい様式での
大会運営や事業の構成



5

IoT

IoT等先進技術の活用と
トライアスロン競技の
融合による革新



Triathlon Sustainable



トライアスロン ～企業リレーション×CSV～



Triathlon Innovation

JTU地域加盟団体と関係パートナー団体・企業との協力でDXによるトライアスロン・イノベーション

トライアスロン ～企業リレーション×CSV～

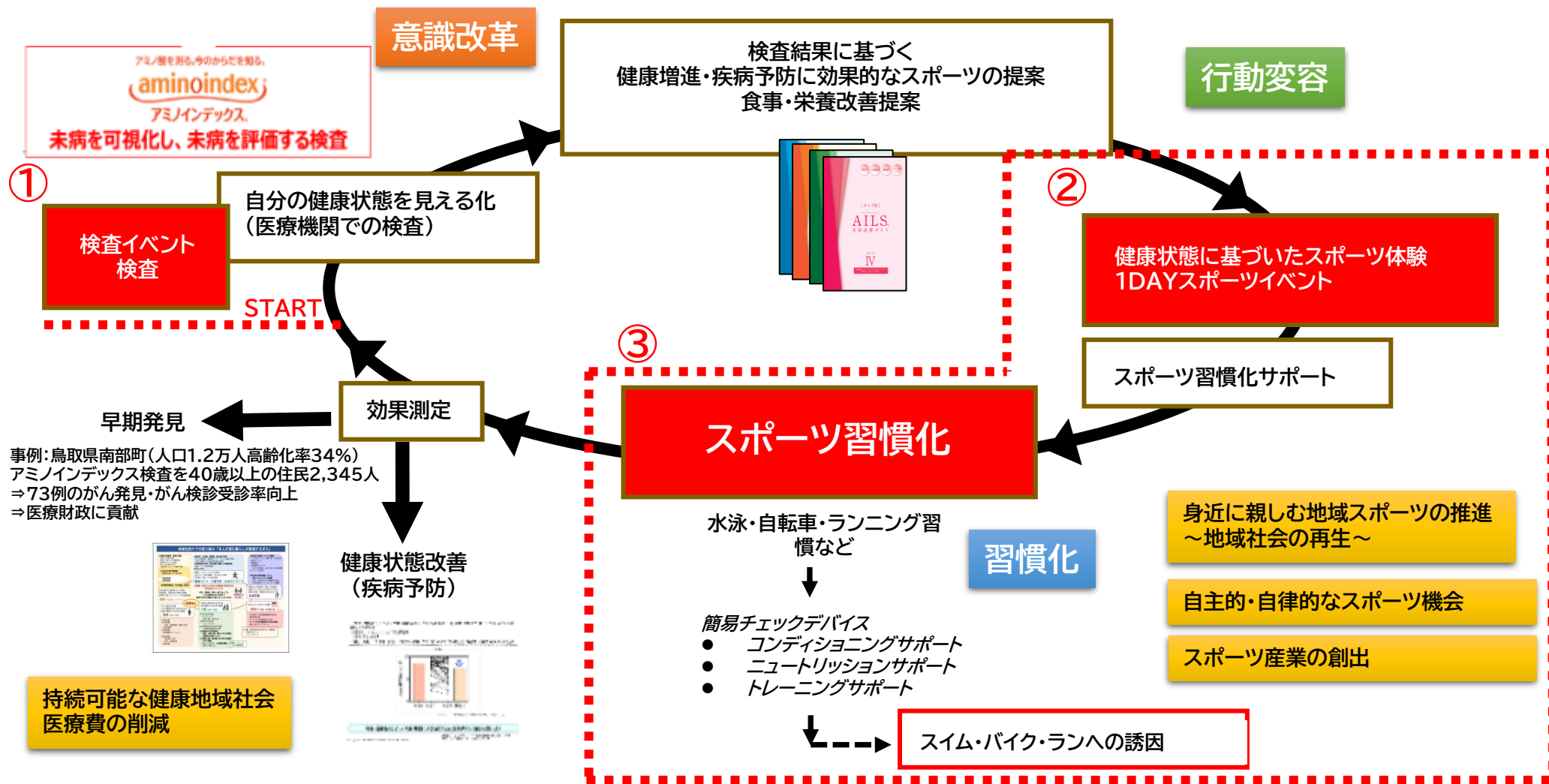
お互いの目標の実現を目的とする、新たな普及および共創事業の開発・実施プログラム



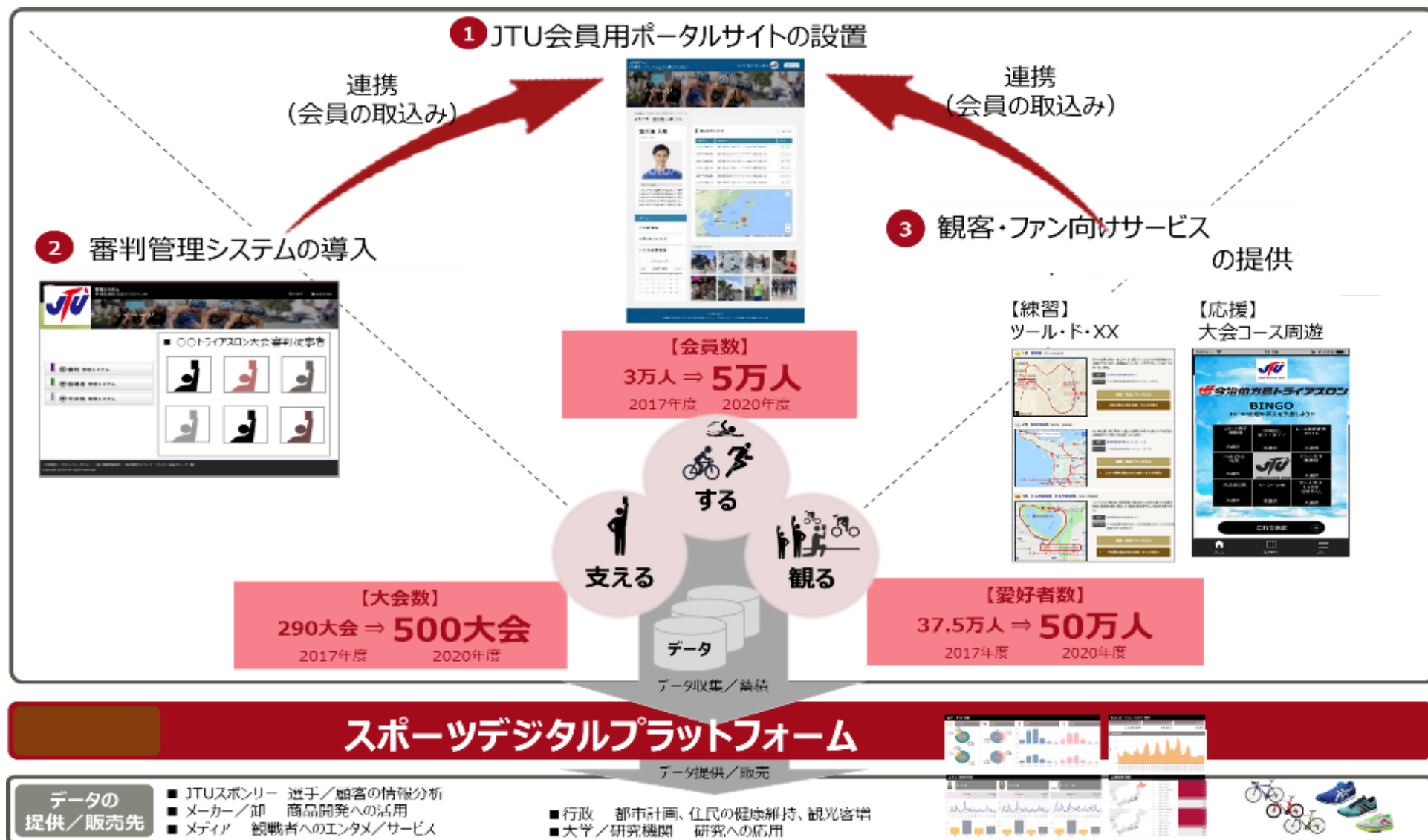
A社様×JTUによる、トライアスロンの新たな普及および共創事業の価値を創る

JTU 全国加盟団体(47都道府県)の協力

トライアスロン ～企業リレーション×CSV(味の素社との共創)～



トライアスロンデジタルプラットフォームの構築推進

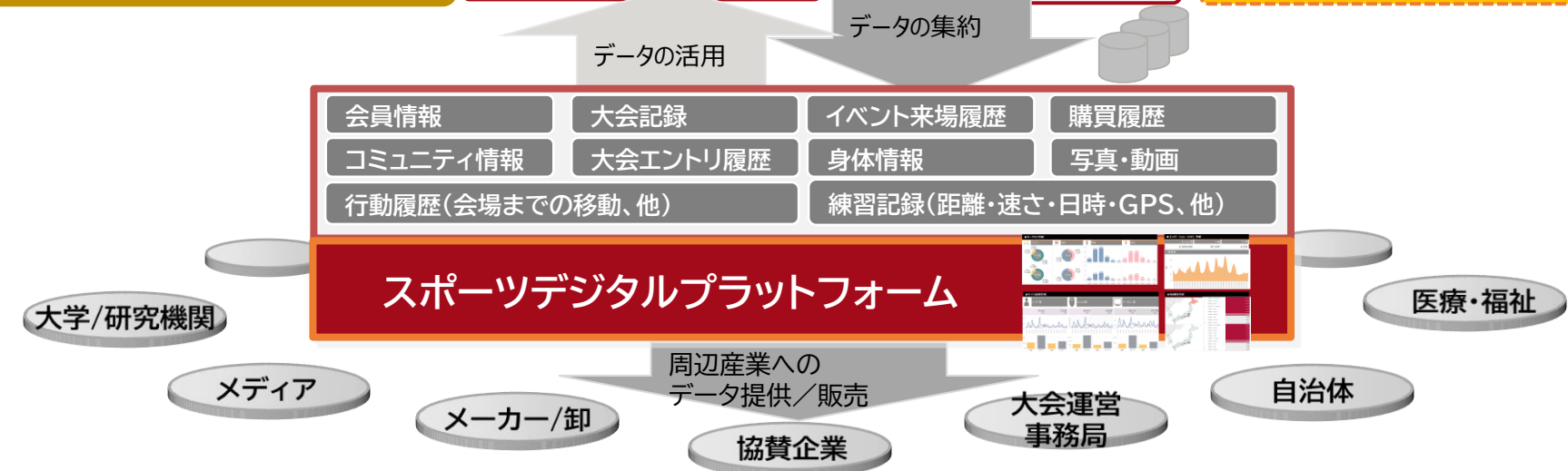
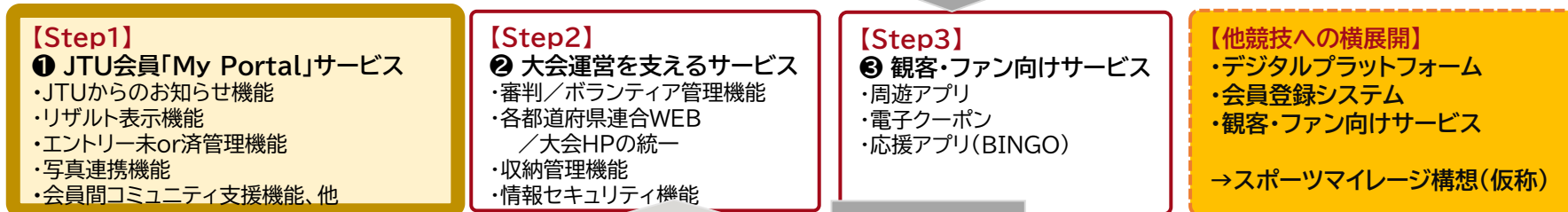


トライアスロンデジタルプラットフォームの構築推進

JTU会員登録の価値最大化 及び トライアスロンムーブメントの創出に向けて、JTU会員向け「マイポータル」を充実させ、JTU会員の**満足度向上**、**大会参加数増加**につなげる。



システム化推進中のサービス



トライアスロンデジタルプラットフォームの構築推進

施策目的

JTU登録会員用 スポーツデジタルプラットフォームを構築

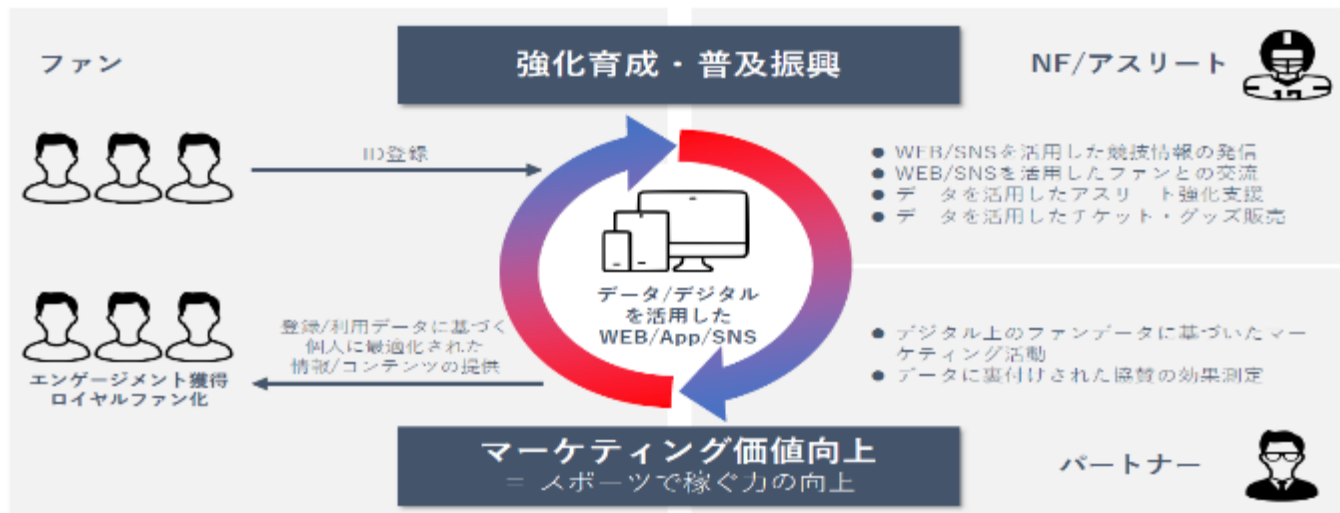
「JTU登録会員デジタルプラットフォーム」を構築することで、会員ロイヤリティの向上と、ガバナンス強化、普及拡大の基盤を形成し、持続的な収益構造の確立を推進する。現在分散管理されている、選手の大会エントリー情報やリザルト・練習記録・写真などの情報を集約。選手の活動データをプラットフォーム上に一元管理・ビッグデータ化をすることで、選手に対するサービス向上だけでなく、安心安全な大会運営に役立てるほか、将来的には関連企業や団体へデータを提供し、新サービス・商品の開発や販売促進に活用を行う。



IoTを活用したスポーツ界全体における将来構想「スポーツマイレージ」案

データ/デジタルを活用したプラットフォームを構築することで、日本スポーツ界の全てのステークホルダーの、さらなる成長を牽引

デジタル&データを活用することで、スポーツファンの「する」・「みる」・「支える」が活性化し、アスリート、ファン、スポンサー、NFにとってのオールWINを実現する



- 日本国民全体の健康寿命促進への寄与
- 健康意識の醸成と行動変容の促進
- 各競技間の垣根が無いコミュニティ
- ユーザ登録制による参加者自身が主導
- 各競技間でシェアできるポイント制
- dポイント等の主要ポイントサービスとの連携による裾野の拡がり